

令和2年度 8月

南伊豆町教育委員会議事録

日時	令和2年8月26日(水)	13時28分から15時10分
場所	南伊豆町役場 3階	会議室
出席委員	教育長	佐野 薫
	委員長職務代理者	下村 和雄
	委員	大年 清一
	委員	山口 絹代
	委員	井上 誠也
説明出席者	事務局 長	大野 孝行
	学校教育係 長	萩原 拓三
	社会教育係 長	桑原 信孝
1 開 会	大野事務局長	開会の挨拶
2 教育長挨拶	佐野教育長	挨拶を述べて、署名人に下村・井上・大野の3名を指名する。
3 教育長報告	佐野教育長	別紙資料により報告
		1 7/28以降の経過報告
		2 学校教育関係(盛夏時の井もの給食の試食と配膳指導視察 8/4 中小 他)
		3 社会教育関係(市町対抗駅伝練習関係 他)
		4 今後の日程(学校管理職人事評価面談 他)
	萩原係長	補足説明
		小学校修学旅行関係について、東小の県内修学旅行について、静岡市がメインで静岡科学館るくる、自然史博物館等を見学予定。上小については三島スカイウ

オーク、エスパルスドリームプラザ、久能山東照宮等を予定。
中学校については、2月に奈良・京都方面を予定。

桑原係長

補足説明

ふるさと学級サマーキャンプについて、通常一泊二日で実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に係る措置で宿泊は中止し半日とし密集状態とならないよう海での活動をメインとした。

ウミガメについて、6/5に96個産卵したものについて8/25の明け方6匹、夜間57匹ふ化。26個腐敗。7個はまだふ化可能性ありのため埋め戻し。

4 議 案

萩原係長

- (1) 児童・生徒指定校変更許可申請について（同家族で2案件）
資料に基づき説明。

佐野教育長 2つの議案について、承認としてよろしいか。

◀ 全員承認 ▶

萩原係長

- (2) 南伊豆町立学校教職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について資料に基づき説明。

佐野教育長 承認としてよろしいか。

◀ 全員承認 ▶

萩原係長

- (3) 南伊豆町学校教育環境整備委員会設置規則の制定について資料に基づき説明。

下村委員 教育環境整備の内容はどういったものか。

事務局長 教育委員会からの諮問内容に応じて答申を行うものであるので、今回の件目は「中学校統合の是非について」となる。

山口委員 委員案の中で中学校が2校であるのに1中学からの代表でいいのか。

事務局長 今回の協議は中学校統合の是非であり、どちらの中学に統合するか等を協議するものではないので1中学代表でよいと考えた。

下村委員 統合の是非という大きなことを協議する中に、バス事業者、教育相談員を入れている意図はどういったものか。

事務局長 バス事業者については、町域が広い当町においては学校統合となると通学手段を考えていかなければならない。実際、バス事業者が統合の是非についてどこまで影響を及ぼしてくるのかわからないが、バス関連のことを聞きたくなる場面もあるかもしれないということも想定して、また、次のステップの委員会を立ち上げたときにはバス事業者の意見も重要になってくると考えてその布石として選任した。

教育相談員については、現在、稲取の瀧謙一先生にお願いしているが、それ以前は町のスクールカウンセラーも務めていただいていた。すでに10年間も町内小中学校にて指導・助言をいただいております、内情にも詳しい方である故に選任した。

下村委員 バス運行や工事ということになると、次の段階の委員会に入るべき方であり、統合の是非というところでどんな話ができるのか。

それよりも、各区の代表者を一般町民という形で広げていく、そういう立場の人の方が良いのではないか。場所の問題を次の委員会に送るのであれば、もっと学校に直接かかわっているような区の代表者やPTAの代表者をもっと入れたほうが良いのではないか。

設計、工事、バス運行の関連が入ると議論がどうまとまっていくのかなという感じがした。

事務局長 設計、工事、バス運行の関連を入れたというのは、答申のメインはあくまでも統合の是非であるが、余談として、「なお、校舎については双方とも現有のものを使用するのであれば、かなり手を入れる必要がある。」だとか、「本町は町域が広範囲のため通学の足を確保することが最重要課題である。」とかそういう部分も欲しいと考えて選任した。

佐野教育長 一般の人に検討いただいても、こうしたほうが良いという結論は出にくい。校舎の耐震性やバスの件をある程度把握したうえで次のステップに移っていききたい。

仮に多くの区長様に参加いただいても意見は出てこない。前回の南上小の統合の委員会がそうであった。

中学校のPTAをもう1名入れることも悪くはないが、うちの学校はこう考えている。もう一方の中学はこう考えている。というものではない。

二人にするとそうになってしまうのではないか。実際にはその方たちの子どもはその時にはいない。それをその方たちに委ねるのも酷ではないか。
あくまでも町の中学校についてということで考えてほしい。

下村委員 会議は何回くらい開催予定か。

事務局長 今年度2回、来年度の早い時期に1回で来年中には結論を出したい。

佐野教育長 令和8年度に統合するのであれば令和4年度には統合する旨、県に報告しなければならない。

山口委員 委員にはある程度了解を得ているのか。

萩原係長 ある程度得ている

山口委員 すると、1回目の会議は9月、10月頃開催か。

萩原係長 会議資料作成の準備が必要なため12月くらいを想定している。

大年委員 下村委員の言うこともなるほどと思うところがある。その後の事務局長の話の聞くとそれも理解できる。

井上委員 話は理解できるが、建築・設計という部分であれば1名でも足りるのではないか。2名であると、設計やら工事やらで統合ありきと思われてしまうのではないか。

大年委員 ある程度、この委員会の中で説明できる方がいればスケジュール的にも効率がいいし、私としてはこの委員構成でいいと思う。

山口委員 このメンバーについては、委員会を立ち上げる際に、話してもらい、工事関係、バス関係を入れていきたいという話であった。
ただ、一番子供たちに接している保護者が1名なのは説明を聞いてもピンとこない。

事務局長 意見収集については、3年ほど前に統合に関するアンケート調査を保護者、生徒対象に実施している。

そういう経緯もあり保護者は1名でもいいと考えた。

今、争点となっているのは、委員人選であり、とりあえずは規則自体の可否についてご審議いただきたい。

佐野教育長 規則自体についてはどうか。

《 全員承認 》

佐野教育長 委員については、遅くならない時期にまた、ご意見をいただきたい。

下村委員 例えば、バス運行事業者が委員に入り、会議内で質問が出た際、委員が回答するのか。大抵は事務局ではないのか。

事務局長 事務局で対応する。しかし、事務局ではわからない質問で、バス事業者であればわかる質問であれば、ざくばらんな話し、そのあたりはどうか、その場でバス事業者に確認ができ、効率的な会議運営ができると考えた。

設計、工事の方も同じ理由で選任した。

下村委員 いれば便利だということは理解できるが、下手をするとその委員が他の委員から責められることにもなりかねない。そういう思いをさせたくない。

事務局長 そういう点は、私どもが守ってやらなければならないと思っている。
また、統合するかしないかの最終決定は整備委員会が決定するものではない。整備委員会は教育委員会から中学校統合の是非について諮問を受け、整備委員会で協議検討しその結果を教育委員会へ答申するものである。その答申を受けて統合の是非を最終決定するのは町である。極端な話、整備委員会の答申と反対の決定が出ることもある。

佐野教育長 答申内容に重みを持たせたい。様々な観点から考え、この答申内容となったという風に持っていきたい。

議案審議は以上で終了。進行を事務局へ返す。

事務局長 報告事項等について

萩原係長 (1) 準要保護の認定について
資料に基づき説明する。
住民税非課税による認定

事務局長 (2) 南伊豆町教育委員会 自己点検・評価報告書について
資料に基づき説明する。

- 山口委員 日詰遺跡出土品の展示について、空き教室等での展示予定はあるのか。旧三浜小学校とかでもいいのでは。
- 桑原係長 空き教室の展示は管理ができないと思う。今後、学校統合が進み空き校舎等が出たときには、当然展示室の話は出てくると思う。
- 萩原係長 (3) 9月補正予算等について
資料に基づき説明する。
- (4) ①特別支援教育就学奨励費について (前月教育委員会での質問に対する回答)
- 事務局長 ②教育委員会視察研修について 資料に基づき説明し、実施時期について意見を求める。
- 《 11月中旬が良いとのこと。 》
- 事務局長 ③委員引継について 資料に基づき説明する。
10月の教育委員会開催に合わせて実施予定
- 《 了承 》
- 事務局長 次回教育委員会日程について、9/15・16・17のいずれかを予定。
- 《 9/17を軸に進める 》
- 桑原係長 芸術祭の中止について報告 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため) 今後、各方面へ周知。
- 事務局長 以上をもって、8月の教育委員会を閉会とする。

15:10 終了

記事録署名人 井上誠也

記事録署名人 下村和雄

記事録署名人 大野孝行